

ソーシャル・イノベーションセンター（多摩）について

2024年度 ソーシャル・イノベーションセンターの活動の概要・・・・・・・・・・124

2024年度 ソーシャル・イノベーションセンター学生団体紹介・・・・・・・・・・126

2024年度 ソーシャル・イノベーションセンター活動の報告・・・・・・・・・・127

2024 年度 ソーシャル・イノベーションセンターの活動の概要

ソーシャル・イノベーションセンター
(多摩事務部多摩事務課学務担当)

1 2024 年度活動報告

(1) SIC 学生ボランティアスタッフの体制

昨年度からの継続 3 年生 3 名の体制のまま活動を実施しているが、2024 年秋に 1 年生 1 名が新たに加入した。防災啓発を主軸とした活動が中心であるため、一般的なボランティア活動ができるのではと期待した新入生とのギャップがあるように見受けられた。SIC 側でも引き続き支援する。

(2) SIC 学生ボランティアスタッフの活動状況

SIC にはキャンパス近隣地域より多くのイベント実施に関する情報が寄せられているが、SIC 学生ボランティアスタッフの体制を踏まえ、SIC で活動する学生プロジェクトや、多摩オープンキャンパスリーダーズの学生などの協力を受け、例年参加しているイベントを中心に活動を行った。

以下、SIC 学生ボランティアスタッフをはじめ、SIC が参加した外部イベントである（詳細は別添資料参照）。

- | | |
|--|--------------------------------|
| ①5月12日(日) 第19回★学生天国★ | 学生：3名 |
| ②8月7日(水) 館クリーンセンター「煙突のぼり」イベント | 学生：2名(SIC学生PJ所属学生) |
| ③9月21日(土) 竹カフェ①～法大生によるキャンパスツアーと防災関連企画～ | 学生：2名(他、OCリーダーズ1名)
地域住民等15名 |
| ④11月10日(日) 相原スポーツ FUNDAY「走り方教室」 | 学生：7名(他、第二体育会より1名) |
| ⑤11月30日(土) まちカフェ! | 学生：4名 |
| ⑥2月11日(火) 子どもセンターぱお 防災体験フェスタ | 学生：2名 |
| ⑦3月22日(土) 竹カフェ②～ボッチャ大会～ | 学生：2名 |

(3) SIC 学生プロジェクトとの連携

SIC 主催の学生プロジェクト報告会（中間報告会（10 月）、地域交流 DAY（3 月））に SIC 学生ボランティアスタッフも参加している。SIC 内で活動する意識付けのほか、他の学生プロジェクトの活動を知ることにより、新たな出展の持ちかけなど、活動の幅を広げている。また、3 月の地域交流 DAY での報告に対し、一般来場者から防災啓発に対する活動を評価する多くのコメントが寄せられ、今後の活動にも活かしていく。

(4) 輪島塗チャリティー企画の実施

現代福祉学部水野雅男教授が主導する SIC 教員プロジェクト「CAMP in Campus」の活動をもとに、能登半島地震の被災地ボランティア支援として、「ボランティアフィールドワーク実習」を 2024 年夏休み期間に石川県珠洲市で実施した。当該実習参加学生有志より、募金額に応じて輪島塗を配付するチャリティー企画に相談があり、2024 年 12 月に多摩キャンパスで 2 日間実施した。

SIC 主催行事（多摩シンポジウム）に合わせ、廣瀬総長のほか常務理事、地域住民が参加する中で実

施したほか、平日授業日には学内教職員や学生をメインターゲットに実施し、2日間で合計114,120円の支援金が集まった。予想以上の好評ぶりで、「CAMP in Campus」や「ボラキャンず」の活動を紹介する良い機会になった。

現地の協力が必要であることから恒常的な実施は難しいものの、継続的な被災地支援の活動として、今後も実施できるよう調整していきたい。

(5) ボランティア相談の状況

特に現代福祉学部1年生の「フィールド体験実習」に伴うボランティア情報の収集のために、ボランティア相談でSICを利用する学生が多い。多摩ボランティアセンターから継続して紹介する施設を中心に、ボランティア参加している。

外部からのボランティア依頼も継続的に受け付けているほか、相原地域で新設した生活介護事業所の利用者との交流を図るなど、ボランティア活動の支援にも引き続き注力していく。

2 2025年度活動に向けて

学生ボランティアスタッフの体制上、新たなメンバーの登録が必要不可欠である。前述の通り、防災啓発を中心とした活動であるため、差別化した仕組みづくりを検討していきたい。特にボランティア活動参加を促す方策として、活動報告となる感想をSICに提出することにより、活動参加に伴う交通費を補助する体制を検討中である。

また、新年度ガイダンスのほか、授業でのSIC紹介に合わせ、ボランティア活動に関する周知も実施していく。イベント等へのボランティア参加については、SIC学生ボランティアスタッフと相談の上、例年参加しているイベントを中心に参加検討していく予定である。

ソーシャル・イノベーションセンター 学生ボランティアスタッフ紹介

～スタッフ代表のことは～

「SIC ボランティアスタッフ」と名前を変えてから 2 年目の活動では、規模を縮小しながらの活動となりました。メンバーの数が 4 人となり、例年通りすべてのイベントに参加することが厳しくなりました。その中でも試行錯誤しながら活動の維持を図った 1 年となりました。

1 年間の活動内容として、私たちが主体となり企画した「地域交流会竹カフェ」、イベントに参加した「学生天国」「まちカフェ」「防災フェスタ」などが挙げられます。地域交流会竹カフェでは 9、3 月の 2 回行いました。9 月では防災と地域交流をテーマに、午前中は地域住民の方に向けたキャンパスツアー、午後は防災クイズや非常食と通常食品の食べ比べを行いました。3 月の竹カフェでは地域交流をテーマにポッチャを行いました。イベント参加ではナマズの学校という防災カードゲームで啓発活動に励みました。これらの交流を通じて、新たな発見や新たな出会いからのコラボなどがありました。

1 番記憶に残っている活動は 9 月に行った竹カフェです。9 月でも猛暑が続く中、参加者の方が来てくれるかと心配しましたが、想像よりもたくさんの方に参加していただきました。大学のキャンパスツアーは思いのほか好評であり、防災クイズも盛り上がっていきました。しかし、途中で私が防災クイズの答えのスライドを映してしまいました。場が盛り下がるかと思いきや、その日で 1 番盛り上がりました。自身の不手際を反省するとともにこの盛り上がりを見て、楽しく学んでいくことの重要性も学びました。

来年度も同じく防災を主軸として、今年度以上に活動の幅を広げて活発にしていきたいと考えています。

2024 年度 SIC 学生ボランティアスタッフ代表 森田 陸生

1. 八王子地域合同学園祭「第19回★学生天国★」

1 日程 2024年5月12日(日)

2 場所 JR八王子駅北口 西放射線ユーロード

3 概要

大学コンソーシアム八王子に加盟している25大学等に所属するサークルやゼミが日ごろの活動や研究の成果を披露するイベント「第19回★学生天国★」に、ソーシャル・イノベーションセンターの学生ボランティアスタッフが参加しました。防災をテーマに防災カードゲーム「なますの学校」の試遊ブースを運営。来場した子どもたちと、楽しみながら防災についての知識を深めました。

4 学生参加者数 3名

5 参加者の感想

当日は天気が崩れることもなく一日開催することができた。来てくれた人は主に子供が多かった。たくさんの方が来てくれたわけではないが、1時間に2～3組の方が訪れてくれぐらいには活動することができた。一日通して活動する中で3～4回ほど遊んでもらってももう一度やりたいという子供たちが2～3組ほどいた。そんな方々に竹カフェのチラシなどを渡せたら来てくれたりするのではないかと考えた。

私は初めて学生天国に参加しました。特に印象に残ったのは、ブースに2回訪れてくれた子どもたちがいたことです。「なますの学校」で楽しそうに遊んでいる様子を見て、とてもやりがいを感じました。アイテムカードや紙芝居の災害時の状況を防災訓練で学んだことがあると教えてくれた子がいて、防災知識の復習として貢献できたと思います。今回は親子連れの参加者が多かったため、全ての世代に防災知識を広めることを今後の目標として活動を継続していきたいです。



紙芝居とクイズで防災知識を確認

2. ～相原地区協議会大学連携事業～ 地域交流会「竹カフェ」

1 日程 2024年9月21日(土)

2 場所 多摩キャンパス

3 概要

「竹カフェ」とは、相原地区協議会との連携事業として、多摩ボランティアセンター時代から毎年開催してきた地域交流会です。

今回の竹カフェは、「法大生によるキャンパスツアーと防災企画」と銘打ち、多摩オープンキャンパスリーダーズの学生スタッフによる多摩キャンパス周辺のバスツアーと、ボランティアスタッフによる災害用備品の実物展示、防災食と通常食の食べ比べと、防災に関するクイズ大会を実施しました。

キャンパスツアーでは、EGG DOME を出発し、サッカー場や馬場のある城山地区から、社会学部棟や現代福祉学部棟、総合体育館、スポーツ健康学部棟をめぐる、SIC が所属する総合棟へと、構内循環バス(通称青バス)に乗り、多摩キャンパスを一周しました。普段はなかなか入ることのないキャンパスの様子に、参加した方々はとても楽しまれていました。

第2部にあたる防災関連企画は、SIC にて行いました。避難所や緊急時に用いられる災害用備品として、段ボールベッドや簡易トイレの展示と、防災食と通常食の食べ比べを行い、実際の使い心地や味などを体感できるほか、防災にまつわるクイズを出題し、楽しみながら防災についての知見を深められる企画を実施しました。参加した方々からは、「楽しみながら防災の知識を学べて、とてもいい企画だった」「改めて防災の観点から普段の生活を見直そうと思えた」など、嬉しいお声をたくさんいただきました。

4 学生参加者数 2名

5 参加者の感想

当日は15人の方に来ていただいて、盛り上げることが出来たのではないかと考えています。その中で課題点としては2つあると考えています。

1つ目は防災意識を持ち帰ってもらえるようなイベントにできたかわからないことです。今回のイベントを通してこれからの防災意識を植え付けられるような訴求ができていなかったらと思うしました。試食会など興味深さはあったとは思いますが、今後につながるかと言われると少し難しいです。

2つ目は展示品として購入したものをどうするかです。今後の見通しを考慮していなかったことと、活用方法をもっと見出さないといけないのが反省点だと考えています。

3年生が主体となって計画した初めてのイベントでした。全て自分たちで決めなくてはならない点が大変でしたが、前回の竹カフェでのアンケート結果を取り入れつつ、防災に関連したイベントを開催できたと思います。幅広い年代の方が参加してくださりととても嬉しかったです。特に防災用具の展示では、皆さんがさまざまな感想や意見を話されていて有意義な時間を過ごせました。今後もさらに良いイベントを企画できるよう頑張りたいです。

地域交流会 竹カフェ

法大生による
キャンパスツアー
& 防災関連企画

日時 2024年9月21日(土)
時間 13:00～16:00
場所 法政大学多摩キャンパス
定員 30名(先着順)

①キャンパスツアー
学生によるキャンパスツアーです。
構内循環バスに乗り、
広大な多摩キャンパスをご案内します。

②防災関連企画
防災クイズ大会を開催します。
いっしょに楽しみながら防災知識を
深めましょう! 原品をご用意しています。
また、防災に関する展示や大学での
取り組みをご紹介します。

お申し込みは“法政大学ソーシャル・イノベーションセンター”へ(詳細は裏面に記載)
住所 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 総合棟2階
電話 042-783-3014 FAX 042-783-2167
メール sic@ml.hosei.ac.jp

申し込み締切:9月13日(金)まで



段ボールベッドの紹介



非常食と通常食の食べ比べ

3. 相原スポーツ広場 FUN DAY

1 日程 2024年11月10日(日)

2 場所 相原中央公園

3 概要

11月10日(日)、町田市相原中央公園内にあるスポーツ広場で開催されたスポーツイベント「相原スポーツ広場FUN DAY」に、SIC所属の「ゆうやけプロジェクト」の学生2名、多摩オープンキャンパスリーダーズの学生スタッフ5名、第二陸上競技部の学生1名の計8名が参加しました。

当日は、子どもたちに正しい走り方を教える「走り方教室」の運営を担当し、訪れた子どもたちの参加受付業務や、第二陸上競技部の学生と陸上競技経験のある学生たちによる走り方指導を行いました。

時折小雨も降る中でのイベントとなりましたが、2歳から小学5年生までの幅広い年齢の子どもたち延べ60名が参加し、グラウンドを楽しそうに駆け回っていました。

4 学生参加者数 8名

5 参加者の感想

私は中学、高校で陸上部に所属していたため今回のFUNDAY走り方教室にお声掛けいただきました。高校卒業して以来、運動をしてこなかったため、走り方を教えることができるか不安でしたが、私もスタッフの皆さんに動きを教えてもら

いながら子ども達と一緒に楽しむことができました。私が担当していた幼児のグループは年齢が少し違うだけでもできる範囲がバラバラでグループ全体でできる動きを見つけることが難しかったです。しかし小さい子供だからこそ、技術面よりもかけっこや競争などの単純な動きで自分も参加しながらみんなで楽しむことができてよかったです。参加してくれた子どもたちにも運動することの楽しさを感じてもらえたら嬉しいです。

第二陸上競技部の方をはじめ、オープンキャンパスリーダーズや大学職員の方々など多くのスタッフが子どもたちと関わり、子どもたちが楽しそうに取り組んでいるのが印象的でした。幅広い年齢層の子どもたちに対し、各々に合わせた対応がなされていたことが、子どもたちの真剣に取り組む姿勢に表れていると感じました。途中、小雨が降り肌寒い中でも、半袖の子どもが複数人いて元気の良さに驚きました。このようなイベントに参加できたことで、団体間のつながりを持ってだけでなく、地域のつながりを感じることができました。また、地域で子どもを育てることの重要性を改めて認識しました。

相原スポーツ広場 FUN DAY 2024 11/10 (日)
 ※雨天中止日：11/17(日)
 会場 相原中央公園 多目的広場2(スポーツ広場) 時間 9:30~15:00 (予定)
 ボールをかって! ながけて! うって! はして!
 家族みんなで遊んじゃおう!
 参加費 無料!
 キッズ走り方教室 (9:30~10:00) 例: 9秒台! 走ることを楽しむ。走り方のコツをつかもう!
 ストラックアウト (10:00~10:30) エースはキミだ! ボールを投げるのに当てよう!
 ティーバットイング (10:30~11:00) わらわ ホームラン! 棒の上においたボールを思いっきり打ちこ!
 キックターゲット (11:00~11:30) ゴールをきめろ! ボールを投げるのに当てよう!
 ドッジビー (11:30~12:00) 当たっても 痛くないよ! ミニサッカー 気分はワールドカップ!
 スポーツカルタ (12:00~12:30) 今年もキッチンカーが来るよ! 気分はワールドカップ!
 「相原子どもカルタ」を足生でゲット!
 開催状況等はコチラからチェック!



第二陸上競技部の学生によるレクチャー



様々な年齢の子どもが参加した

4. 町田市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

1 日程 2024年11月30日(土)

2 場所 町田市役所

3 概要

「市民協働フェスティバル『まちカフェ！』」は、町田市内で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動(町内会・自治会)などが一堂に集い、活動発表などを通じて交流を深めるためのイベントです。100を超える催しが行われるなか、学生ボランティアスタッフは、多摩ボランティアセンター時代(2016年)から継続して参加しています。

9回目の参加となる今回は、防災クイズとみんなで作る町田のマップづくりを実施しました。どちらも、お子様連れのご家族を中心に、50組近くの方にご参加いただけました。特に、マップづくりではご参加の方々から地元町田の美味しいお店や景色のきれいな場所など様々な情報が寄せられ、大変盛況でした。町田市内の活動団体が一堂に会する大きなイベントということもあり、例年参加している学生は地域の方が声をかけられるなど、ブース出展だけでなく他団体の企画に参加することもでき、充実した経験を得ることができました。

また、SIC所属の学生プロジェクト「佐野川プロジェクト」は今回初めて『まちカフェ！』に参加し、佐野川学生茶の販売を行いました。こちらも30組以上の方々にご購入していただくことができ、また、佐野川プロジェクトの活動を知ってもらうことのできる大変よい機会となりました。

4 学生参加者数 9名

5 参加者の感想

当日は予想よりも多くの人に参加いただくことができ、よかったです。防災クイズについては、年代毎に分けた難易度のクイズを用意するべきだったという反省もありますが、皆さんに楽しみながら防災を学んでいただけてよかったと思っています。また、今回の地図作りは初めての試みでしたが、参加者の方々と気軽に交流することができ、自分たちにとっても町田市のことをよく知る機会となりました。今後、皆さんにご参加いただいて作成したこの町田のマップをどのように活かしていくか、メンバーと引き続き話し合っていきたいと思っています。

私は今回、学生ボランティアスタッフとして初めて、外部で活動するイベントとなりました。最初はブースの場所が3階ということもあり、来場者の方があまり見られず不安がありました。時間が経つにつれてお子さん連れの方や法政大学OBの方とも交流することができ、とても良いイベントになったと思います。クイズの後、地図作りのブースへうまく繋がれないことがあったので、流れや動線など今後のイベントに活かしていきたいです。

第18回
町田市市民協働フェスティバル
まちカフェ!
2024.11.30(土)~12.8(日)
開催場所 町田市役所・市内各地の会場

NPO、市民・地域活動団体、ボランティアと出会う

町田市役所開催イベント
11.30(土) 10:00-16:00
初日は市役所でのオープニングイベント実施!
120を超える団体が大集合し、子どもから大人まで楽しめる様々な催しを実施します
マルシェワークショップ・機器・コンサート・アート鑑賞・スポーツ・本棚・子育て・市民活動・仲間探し・ミニ講座・ゲームクイズ and more...

町田市内各地で開催するイベント
11.30(土)~12.8(日)
市役所会場(平日一部)や市内各地の会場、団体の活動フィールドで趣向を凝らした展示イベントが実施されます

入場 無料

最新情報は公式ホームページ、SNSをチェック!
QRコード: @machicafu_mcc, @Machida_machicafe, @machicafu_machida
https://www.machicafe.tokyo/

主催 町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」実行委員会
共催 町田市市民協働フェスティバル実行委員会
協賛 町田市市民協働フェスティバル実行委員会



防災クイズと町田の地図づくり



佐野川茶の販売

5. 輪島塗救出プロジェクト・チャリティーイベント

1 日程 2024年12月15日(日)・16日(月)

2 場所 多摩キャンパス

3 概要

2024年12月15日(日)・16日(月)、多摩キャンパスにて「輪島塗救出プロジェクト・チャリティーイベント」を開催しました。

本イベントは、現代福祉学部水野雅男研究室が取り組む「ボランティアキャンプすず」の活動に参加した学生有志が、能登半島の被災地支援のために行ったチャリティーイベントです。

12月15日(日)は多摩キャンパスで開催された「多摩キャンパス開設40周年記念×第40回多摩シンポジウム」にて開催し、多くの来場者の皆様にご協力いただくことができました。

12月16日(月)は、円形芝生広場を会場に、学生や教職員など多くの方々にご参加いただき、それぞれの寄付金額に応じた輪島塗をお渡ししました。

4 学生参加者数 延べ7名

5 参加者の感想

12月15日と16日の2日間にわたり、私たちは輪島塗チャリティーイベントを開催しました。初日の15日には法政大学多摩キャンパスで行われた多摩シンポジウムにて、また翌16日には円形でイベントを実施しました。両日ともに、多くの学生や教職員の皆様にご来場いただき、たくさんのご支援をいただくことができました。

このイベントでは、多くの方々のご協力により、2日間で合計114,120円の支援金を集めることができました。この支援金は、輪島漆器商工業協同組合に募金させていただきます。

今後も機会があれば、多摩キャンパスでのイベントを検討し、より多くの方々に輪島塗の魅力を知っていただけるよう活動を続けてまいります。ご支援いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。



多くの方にご協力いただきました



多摩シンポジウムにて

6. 子どもセンターぱお 防災体験フェスタ

1 日程 2025年2月11日(火・祝)

2 場所 子どもセンターぱお

3 概要

2月11日(火)、子どもセンターぱお(町田市相原町)で開催された「防災体験フェスタ」に学生ボランティアスタッフが参加しました。今回の防災体験フェスタは、子どもセンターぱおが初めて開催したイベントで、当日は防災グッズの工作や非常食の試食、バケツリレーや心肺蘇生体験など様々な企画が実施されました。

SIC学生ボランティアスタッフは、防災カードゲーム「なますの学校」とクイズラリーを行いました。どちらも、お子様連れのご家族を中心に、50組近くの方にご参加いただきました。

また、SICとしても段ボールベッドや段ボールトイレで避難所体験ができるブースや、「CAMP in Campus」「ボランティアキャンプすず」の活動を紹介するブースを設け、こちらもたくさんの方に立ち寄っていただくことができました。

4 学生参加者数 3名

5 参加者の感想

なますの学校とクイズラリーでは、たくさんの参加者の皆さんと関わることができました。子どもたちと会話するなかで、自由な発想に驚かされる場面もあり、私も新しい視点で問題の答えを考え直す機会になりました。また、隣のエリアで開催されていたバケツリレーが印象に残りました。運動を取り入れることで勉強というイメージをなくし、自然に防災知識を身につけることができるため、今後の参考にしたいと思います。

今回のイベントでは、たくさん子どもたちと交流することが出来ました。特に「なますの学校」という災害に関するカードゲームでは、子どもたちの柔軟な考えに驚きを感じるとともに、論理つけて説明することの難しさも改めて感じました。今後の活動やイベントにも生かしていければと思います。

今回の防災フェスタは主に子供がメインであったことから、より「なますの学校」を楽しんでもらえたように感じた。また初めて行ったクイズラリーにもたくさん子どもたちが参加してくれ、好評だった。今後とも子どもセンターぱおさんとは、何か協力できるようなことがあれば積極的に参加していきたいと思う。



防災カードゲーム「なますの学校」



防災クイズラリーも実施した

7. ～相原地区協議会大学連携事業～地域交流会「竹カフェ～ボッチャ大会～」

1 日程 2025年3月22日(土)

2 場所 法政大学 EGG DOME

3 概要

3月22日(土)、相原地区と法大生の交流イベント、通称「竹カフェ」を多摩キャンパス EGG DOME のホールにて開催しました。

今年度2回目の開催となる今回は、パラリンピックの公式種目で、年齢や性別、障がいの有無を問わず、交流を深めるのに最適なパラスポーツ「ボッチャ」の体験大会を実施しました。

ソーシャル・イノベーションセンター(SIC)の学生ボランティアスタッフ2名と、地域の方27名の計29名が参加し、全5チームでの総当たり戦を行いました。上位となったチームから、景品の法政グッズをゲットできる形式で、熱い試合が繰り広げられました。試合が進むにつれ、参加者全員が打ち解け、和気あいあいとした雰囲気となり、地域の方と学生の交流を深める良い機会の場となりました。

4 学生参加者数 2名

5 参加者の感想

今回は定員に達するまでに来場していただいたこともあり、活気のある竹カフェになったのではないかと思います。ボッチャを通じた地域交流が目的であったが、今回はその目標を達成することができたのではないかと思います。竹カフェの最後にはもう一度参加したいなどの声ももらうことができたので、実りのあるイベントとなった。

当日は多くの方に参加をいただき、とても賑やかな竹カフェとなりました。ボッチャの試合中に、拍手が起きたり真剣に取り組まれたりと様々な場面が展開され、参加者同士でのコミュニケーションが活発だったと感じました。また、学生ボランティアスタッフの活動や多摩キャンパスについて興味を持って下さり、沢山お話をすることが出来ました。終わりには、「来年も参加したい」とのお声をいただき、楽しく障害者スポーツに触れることが出来たのではないかと思います。今後も地域の方と交流する場を継続していきたいです。



竹カフェ
ボッチャ大会
景品アリ!

日時: 3/22 (土)
時間: 13:00~15:30
場所: 法政大学多摩キャンパス
EGG DOME5Fホール
定員: 24名 (先着順)

内容
今話題となっているパラリンピック競技のボッチャを皆さんと体験します!

お申し込みは法政大学ソーシャル・イノベーションセンターまで (詳細は裏面に記載)
住所: 〒194-0298
東京都町田市相原町4342 総合棟2階
電話: 042-783-3014
FAX: 042-783-2167
メール: sic@ml.hosei.ac.jp 申込期限: 3月14日(金)まで



アイスブレイク



ボッチャを楽しんだ